



鷗外全集

第二十七卷

第二十七回配本（全三十八卷）

鷗外全集 第二十七卷

定價貳千圓

昭和四十九年一月二十二日 發行 ©

著 者 森 林 太 郎

發行者 岩 波 雄 二 郎

發 行 所 東京都千代田區一ツ橋二丁目五番五號  
株式會社 岩 波 書 店

落丁本・亂丁本はお取替いたします

## 目次

棕鳥通信

一

棕鳥通信拾遺

八四一

水のあなたより

八五五

海外通信

九一五

後記

九二三

# 棕鳥通信



一九〇九年一月になつてから、巴里の名優 Coquelin sen. が六十八歳で肺炎に罹つて死んだ。○一月十一日には C.édie Française へ

Mirbeau

の滑稽劇 Le Foyer を興行したところが、貴族を馬鹿にしてゐるといふので、見物中の王黨青年會の連中が暴行をした。○近頃假粧舞踏會の假粧が一變して來た。それは著名な繪畫彫刻品の中の人物に扮するやうになつたのである。Gainsborough の青い童子になるとか、Reynolds の Nelly O'Brien になるとか、Lawrence の Miss Faren になるとかいふ工合だ。○一月十六日に、Würzburg の Allampra-Saal へ Oskar Neidert といふものが、「日本及日本藝術」といふ演説をした。一九〇八年中日本に居たもので、自分の買つて歸つた標本を見せて演説したのである。藝術とはいつても、嚴重な意味でいふ藝術を深く論じたのではなくて、Kunstgewerbe の事を多く話したのかとおもはれる。○一月十三日の獨逸議會では、代議士 Röten 等が、一九〇八年十月二十三日に出した質問書に對する内務大臣 von Moltke の答辯があつた。質問は昨年中評判になつてゐた男女裸體の見せもの事件である。伯林で Schönheitsabende と稱して美男美女を色々に組合せて見せて、藝術上の研究に資するといふことが始まつた。其寫眞も高價なものが出來てゐる。それが風俗を壞亂するといふ問題になつて、政府は Akademie der Künste の意見を問うた。意見書には藝術上利益がないといふことを書いて出した。そこで禁止せられた。質問書は政府が此處置をする前に出したものである。Akademie の意見は藝術上利益がないといふに過ぎず、風俗上どんな關係があると政府は認めるかといふのである。大臣は有害と認める、

今後あゝいふ風 of のものは營業法 (Gewerbeordnung) に従つて行ふことにさせると答へた。營業法に従ふと警察が自由 hands を出すことになるのである。○一月十三日には瑞西の Zürich へ

#### Karl Bleibtreu

が五十年の誕生日を祝した。脚本などは十餘篇あつて、随分立派な作がある。伯林の所謂文壇に排斥せられて今も默殺といふ待遇を受けてゐる。世間では近頃書いてゐる一八七〇年乃至七一年の戦記を一戦闘毎に分けて書いたものを知つてゐる丈である。○Paris には Académie の

#### Jules Lemaitre

が肺炎兼丹毒で危篤である。○London 近郊の別墅にゐる

#### Sir Conan Doyle

は大手術を受けた。○München の小劇場が餘り卑俚な事を遣るのせゝ Deutsche Rundschau (主筆 Armin Kamsen) は Hans Besold が、論文を連載して退治に掛かると、芝居の座主達が訴訟を起した。併し Münchener Schöffengericht の法廷は主筆をも記者をも無罪と判決した。○諸方で繪畫の贋作を遣ることが盛になつて、畫に他人の名を署した爲に罰金を取られるものが澤山ある。名のある畫工は別誂の麻布にかいたり、又印を押したりして防いでゐるが、十分に防ぐことが出来ない。色々防遏手段を講じてゐるといふことだ。○Lüttich で例年發行してゐた曆 (Almanach) は一六三六年に初めて出したもので、歐羅巴では最古の曆であつたが、今年廢刊になつた。○劇を見て人を殺した話がある。Turin の商人 Balassare Canda は妻 Caterina との間に子が三人あつた。妻が少年と通じて逃げた。親戚のものが探し出して連れて歸つた。中直りが出來た。さて一月十三日の晩に夫婦で Teatro Rossini へ見物に行くと、其劇が妻の夫を棄て、逃げる劇であつたさうだ。作の名は知れない。夫はそれを見て一しよに家に歸つて、拳銃で妻を撃ち殺して、第二の彈



で自殺した。○一月十五日には、

Ernst von Wildenbruch

が伯林の自宅で死んだ。一八四五年二月三日 Beirut で總領事の息子に生れた人だ。平生健康で、死んだ日にも平氣で湯に入つて、玉突をして、其跡で着物を着更へに室にはいつて卒倒したのであつた。腦出血である。直に帝に奏聞せられた。遺骸は Weimar に遣つて火葬するさうだ。最後の作は 'Verein „Presse“' が伯林で催した舞踏會の爲に書いたものであつたさうだ。これも伯林の所謂文壇で默殺の待遇を受けてゐた一人である。○一月十四日に、伯林の辯護士 'Freitel' は舞女 Olga Desmond の代人として、代議士 Rören に書狀を送つた。其趣意は代議士が議會でした演説の中に、'Olga' の裸踊に對する侮辱の詞があつた。それを取消すか又は議會以外で反對して貰ひたい。議會以外で反對した上は起訴する筈であると云ふのだ。代議士の返事は「予の議會に於ける行動に關して、直接間接を問はず、貴君の代表せる Olga Desmond と通信することを謝絶す」と云ふ文句であつた。○伊太利に、追剝の事を書いた爲に殺された記者がある。Sicilia の追剝の頭領 Crisati は Giornale di Sicilia の紙上に自分の率ゐてゐる組の事を書いたのを怒つて、記者 Rizzotti Caledoni に對する復讐を企て、最初に其家族を段々に殺害し、一月になつてから、いよく本人を殺害した。(一九〇九年一月十六日發)

前便の通信は、誰か社中の人がいたづらに「むく鳥通信」とした處が、木扁のむくの字が無いと見えて、掠めるといふ字になつた。或は情深い植字方が、わざと直したのかも知れない。Siberia 鐵道で、歸る雁を掠めて行つた通信だとも見てもらつても好いのである。○前便に書くことを忘れたが、昨年一九〇八年十二月二日に亡くなつた

Ilse Frapan-Akunian

は一八五二年二月三日にHamburgで、佛蘭西から移住して來たDevienといふ一族の家に生れた。一八八四年からStuttgartの大學にはいつて、當時審美學を講じてゐたTheodor Vischerの講堂で、いつも一番前列のベンチに目をかざりやかしてゐた女學生は此人であつた。Zürichに轉學してからは、醫學と化學とを聴いた。千八百九十何年であつたか、Armeniaの文士Akunianの妻になつてGenèveに居を占めた。初期と晩年との作は、多くHamburgの地方的色彩を帶びたものであつたが、中年には夫の影響を受けたと見えて、東洋的の趣味も見えた。今大阪に歸つてゐる北里闌が脚本を出したとき、頗る妥な批評をしてくれたのは、同郷人のために嬉しかつた。兎に角惜しいをばさんを亡してしまつた。○一九〇九年一月十七日に出棺の儀式のあつた、

#### Ernst von Wildenbruch

が、死んだ時の詞は、「神よ、我死期を緩うせよ。」と云ふのであつたさうだ。人間の正直な告白はこんなものかも知れない。帝からは弔電が來た。葬式は十九日にWeimarであつた。Richard Vossの作つた誄詞をWeiserが讀んだ。○一月十六日にSven HedinはStockholmに着いて、王室の歓迎を受けた。○辯護士が俳優になつた話がある。Würzburgで辯護士をしてゐたFritz UllmerはMünchenの宮廷劇場で、一月二十一日に始つSchillerの戯曲Wilhelm Tellの主人公を勤める筈ださうだ。續いて二十五日に、同じ人の戯曲Räuberの主人公Karl Moorを勤めて、其上では多分傭聘せられることになるだらうと云ふことだ。○矢張Münchenの宮廷劇場で、一月十四日の發聲試験にKurt Boltenhagenといふ少年のTenorを發見したさうだ。○LondonのTerrey Warren 商會は海上球突臺を作つた。船體の動搖が球突臺に影響しないやうにしてある。○奧太利ではBohemiaに居る獨逸人を壓服しようとするので、大學の教授連がぞろ／＼揃つて獨逸に逃げて來る。○一月二十一日には、Oberpfalzの郷土文學で名のある

#### Joseph Baierlein

が七十の年賀をした。此男は十五年間 Aschaffenburg に住んでゐたのだが、今年になつてから娘をよめに遣つてある Köln に引き越した。○巴里流行の婦人服は、色彩より形に重きを置いてゐる。色は大抵 *blanc* が勝つてゐる。眞黒、眞白などが多い。形に *plastique* に體の線をほのめかするやうな絹をよしとする。狭いのが殊にはやる。「着て歩かれる中は、まだ十分狭く仕立てたとはいはれない」といふ洒落が人口に膾炙してゐる。金銀珠玉はたつぷり使はれる。中には全身が魚の鱗かなんぞのやうに見えるのさへある。Corsette と Culotte とを一しよにして、下は膝迄届くのが用ゐられる。蜘蛛の巣のやうな Chemise の上に鞆革の下着を着る。上衣には毛皮を取り付けたのが多い。肩掛は Crêpe de Chine に金糸の縫箔といふやうなのが多い。名づけて *echarpes* といふのである。○Würzburg では、一八〇九年一月七日に死んだ彫刻家 Peter Wagner の百年祭に Stephansplatz 六番地の舊宅に記念牌を懸けた。○伯林の Neues Schauspielhaus では Joseph Kainz が來たので、久し振の大人を見た。其外此頃の伯林の興行ものは、大抵文學上に價値のある作品よりは、俗受の好い作品の方だ。Kotzebue やら、名もない佛蘭西滑稽戲曲家やらで入を取るといふ風が見える。Lessing-Theater の Brahm のやうな座主でさへ折々は此風潮に支配せられるのである。○巴里では政權のある王侯ばかりの畫を展覽することになった。葡萄牙の未亡人 Amelie, Rumania の妃、Flandres の伯爵夫人、Chartres の侯爵夫人、Vendôme の侯爵夫人、璉馬の王族 Waldemar 姫等が出品者である。Amelie の亡夫 Carlos 王は一九〇〇年に、巴里に水彩畫を出して賞を得たことがある。Amelie も夫と同じく此道に耽つてゐるのださうだ。○此頃 London の Press Association は

Bernard Shaw

が大病だと聞いて、病況書を送つて貰ひたいと云つて遣つた。Shaw の返事が好い。「何卒公衆に我死を報ぜられたし。然らば予は多くの無益なる面倒を免るることを得ん。」○一月二十六日の晩から、羅馬では雪が降つて、街には五 cm

程積つた。電車が處々で留まつた。珍らしがつて Monte Pincio へ雪見に出掛けたものがある。○肺炎で永く煩つた爲めに誤つて訃音を傳へられた巴里の名優 Constant Coquelin(前便参照)は、とう／＼一月二十七日の朝本當に亡くなつたさうだ。卓に倚りかかつて稽古をしてゐる間に卒倒した切であつたのだ。年は六十八歳である。Matin に獨逸帝が大きな花束を墓に供へせたと書いてある。何にも好く手をお出しになる事である。○Budapest の少女 Stef Geyer は violin を持つて獨逸の都會を廻つてゐる。美貌が評判を助けてゐるのである。○樂人 Felix Mendelssohn-Bartholdy が百年目の誕生日だといふので、二月三日には獨逸の諸都會の樂人達がいろ／＼な催をした。此人が生れたのは一八〇九年で、故郷は Hamburg であつた。Leipzig が好で、多くあそこにゐる中に、千八百四十七年十一月四日にあそこで亡くなつたのだ。それだからあその樂堂(Gewandhaus)の前に立像が据ゑてある。今の趣味から云へば、古臭い樂であるが、まだ民心には影響してゐる。○英國の外交官で公使に出てゐた Gordon の未亡人

#### Miss Gordon

は小説家で、Engelhorn などに載つてゐる小説は、東京の市中にもある筈だが、二月三日に、獨逸の Würzburg になつた。○郵便切手を集めることは大分流行が下火になつたが、此頃 Gaulois でこれ迄世界中で發行した切手の種類の統計を公にした。總數二二三八二の中、英吉利六八四九、英を除きての歐羅巴四六八五、亞細亞四三四二、亞弗利加四九七四、亞米利加四八六〇、濠洲一六一二である。○又自動車の統計を公にしたものもある。全世界の自動車數が三二六、一七五で、内北米一二〇〇〇、英吉利及愛蘭一〇二五〇〇、佛蘭西三七〇〇〇、獨逸二三〇〇〇、伊太利九七三〇、奧匈七四二五、露西亞、希臘及土耳其格六五〇〇、西班牙及葡萄牙四七四〇、南米四〇〇〇、印度三二〇〇、英領拓殖地三二〇〇、中央亞米利加二五〇〇、支那及日本一五〇〇といふのである。固より極て不確實なものであらう。○伯林では風景畫で名のあつた Max Hoenow が二月三日に亡くなつた。年は五十八である。○Hauptmann が脚本の主人公にし

てから、殊に人の注意を惹いてゐる Florian Geyer の歴史上事實に就いて、此頃 Amrhein というものが研究した成績を公にした。Giebelstadt で此人が生れたのは一四九〇年から一四九六年までの間である。繼父に養育せられて、同胞の遺産を譲り受けた。此財産に對して、寺院 Neumünstersift に納金(Guld)をする義務があるのに、Geyer はそれを果さないで、寺院と確執に及んだ。寺院は Excommunication を宣告した。そこで百姓一揆の首領になつた。さうして見れば、政治上の意見から一揆を指揮したのではない。死んだ時の事情には明白な記載を見出さない。風説には姻戚の Wilhelm von Grumbach に殺されたといふことであつた。要點はこんな事であつた。○俳優社會の我儘の例として New York の劇場で座がしらしらをしてゐる Hammerstein の話した例が面白い。Lillian Nordica は稽古の日に、樂人 Campanini が葉巻をのんだのが失敬だといふので契約を解いた。Tetrazzini は短刀を床に落して見て、三度共床に立つと、其晩は好い聲が出るといつて喜ぶ。立たなかつた晩には神經質になつてゐる。Trentini は座がしらに二十五サンチムの銀貨を一つ宛聲の出るまじなひに貰つて舞臺に出る。Donalda は運の好くなるまじなひに衣物の鈕をむしり取るので、衣裳方が困る。Zenatello はまじなひに兎の足を一本ポケットに入れて持つてゐる。○俳優の給金が安くて困るといふことに就いて、獨逸の國會議員 Pfeiffer といふものが小冊子を著した。國中の俳優二五〇〇〇人の中で、千馬克以下の年金のものが一二〇〇〇人、千五百馬克以下のものが五〇〇〇人、三千馬克以上のものが二五〇〇人ある。中には Nora を勤める位な女優は Saison の収入が gage として三六〇馬克、honorar として二二〇馬克計五九五馬克なのがある。月給三二馬克から一八〇馬克迄の俳優を使つてゐる劇場がある。一座の給料が最下限八〇フラン最上限一三〇フランの處もある。第一等のお山に月給八〇フランを遣つてゐる處もある。これでは墮落せずにはゐられないと云ふのである。○倫敦では餘り女權黨が荒れ廻るので、とうとう女巡查を拵へるといふことだが、どうだか。○巴里の仕立屋の會議で、次期の流行は Directoire を止め、Louis XV 時代の Crinoline を改造した吊鐘式にすると議決したとい

ふ事だが、これもどうか。(一九〇九年二月六日發)

二月九日には Breslau で

Felix Dahn

が七十五度目の誕生日を祝した。此人は一八三四年二月九日に Hamburg で俳優の子に生れた。十六歳の時 München 大學に籍を置いて、卒業して助教になつた。それから一八六二年に Würzburg の員外教授、翌年正教授と歴遷した。その教職を奉じたのは法科であるが、歴史を好んで、歴史小説を書いた。現住所に移つたのは一八八八年であつた。○巴里では俳優 Coquelin jun. が頓死した。餘り早く父の跡を追うたと噂せられる。○巴里から St. Germain へ汽車に乗つて行く途中で、車室の戸を開けて轉び落ちた爲め、

Catulle Mendès

は頭蓋を碎き、右臂右脚を軀幹から斷たれて即死した。批評家として聞えてをつた人である。曾ては Richard Wagner の親友として知られたこともあつた。年は六十八歳。此の悲惨な出來事のあつたのは二月七日の夜であつた。○二月九日伯林の議會では、保守黨の von Brockhausen が興行脚本の取締を嚴にしたいといふ演説をした。○鐵道技師が樂劇作者になつたのは Roubaix の貧家に生れ、現に Levallois の鐵道に奉職してゐる

Paul Dupin

である。諧音學を David に受けた男である。新作樂劇 Marcella に獨創の妙處があるのを、巴里で Roland が發見したといふことである。○帝王の眠といふことに就いて伊太利新聞が問ひ合せた。獨逸帝は十一時に寢て六時に起きる。和蘭の Wilhelmína も矢張十一時に寢る。希臘の Georg 王は晩く寢て床の中で葉卷をのむ。床の軟なのを嫌ふ。Bulgaria

の王 Leopold II は夜なかまで讀んだり爲事<sup>しごと</sup>をしたりする。西班牙の Alfons は早く寢て晏く起きる。起きると新聞を讀んで、それから手紙を書く。昨年弒せられた葡萄牙王 Carlos は夜おそくなるまで宮内官を集めて雜談をしたり、玉突をしたりしてゐた。Rumaenia の王妃 Carmen Sylva は戴冠詩人として名高いが、著作は大抵夜中にする。○二月五日に Bruxelles で Anne Josephine Rubay とお婆あさんが死んだ。此人は拿破崙一世が、これから Waterloo の會戦が始まるから、おかあさんと逃げると云つて、頬つぺたを叩いたといふので人に知られてゐた。○Karlsruhe の美術史家 Von Oechelhaeuser は Shakespeare を譯して名を知られた人の子であるが、今年出版になつた同地の Hochschule-Taschenkalender で誤植の爲めに意外の侮辱を受けてゐる。其文に云はく、"Von Oechelhaeuser, Dr. Adolf, *Gemeiner Hofrat*!" ○二月十日の柏林の議會では、自由民黨の Müller-Miningen が獨逸聯邦劇場法案の説明をした。前便に書いた俳優の給料の安過ぎることも演説の中に引用せられた。俳優口入 (Agentur) の利を食ふことも非難せられた。衣裳問題の弊害も擧げられた。Pfeiffer は俳優の労働時間を定めて、日曜日も休ませねばならぬと云つた。政府委員 Bechmann-Hollweg は劇場問題は各邦で解決するのが至當で、聯邦法律とするには及ばぬと云つた。○二月十一日に議會で Thaler は記念品保護 (Denkmalschutz) に就いて演説をした。國寶の資格のある品が外國へ持ち出される。記念建設物はその歴史的周圍から引き離される。これは議會から直接にどうもする事は出来ないが、各邦に對して忠告をすることは出来ようといふのであつた。○Turin から妙な風聞が傳へられた。それは一九〇〇年十一月三十日に巴里で死んだ筈の

Oscar Wilde

に其後出會つたものがあるといふ話である。中にも Napoli の人某は好く Wilde を知つてゐたのであるが、ある日 Via Ventì Settembre で Wilde にばつたり行き合つた。例の放浪の痕を印した、萎びた顔をして、人並でない服裝をしてゐ

た。顔をぢつと見ると、その儘逃げ出して Via Alberti にはいつて見えなくなつたといふのである。○二月十五日附彼得堡の通信に、

#### Maxim Gorki

に對する逮捕狀が發せられたとある。○二月十五日 Mexico 國 Acapulco 市 Flores 座の火災で焼け死んだものが三百人であつた。○Richard Strauss の Elektra は Dresden 次いで München に興行せられて、Salome 以上のさわざである。○二月十八日附羅馬の通信に Maxim Gorki は Capri にゐた處が、其筋から國境外に立ち退いてはくれまいかといふ交渉があつたさうだ。○二月二十二日には Charlottenburg で

#### Friedrich Spielhagen

が八十の誕生日を祝つた。首相も賀客の中に見えた。○二月二十四日には巴里の女優 Irene Muza が酒精のはいつてゐる水で髪を洗はせてゐて、其水に火がうつつたので大火傷をした。○今年の春から夏に掛けての巴里の流行色は Bien electric である。縁を帯びた青で、濃淡はいろいろある。伯林では青い男の帽がはやる。○白耳義では動物畫に名のある Henriette Ronner が八十八歳で死んだ。○巴里では彫刻家 Charpentier が三月五日に死んだ。○三月六日には伯林の Lessing-Theater と維也納の Hofburg-Theater とで同時に

#### Gerhart Hauptmann

の新作 Griselda を興行した。伯林では初のうちは見物が受けてゐるやうであつたが、末になるに従つて景氣が悪くなつた。批評家がはでは單に不評と報じてゐる。かはりものの伯爵 Ulrich が百姓の娘 Griselda を娶る話を書いたものである。○瑞典では小説家

#### Gustaf af Geijerstam



が五十一歳で死んだ。○三月十日には Münchener Akademie der Wissenschaften の百五十年の祝があつた。攝政は宴を宮中に催して、教務大臣 Von Wehner と學士會院長 Von Heigel とを招いた。○英國に落語が行はれて來た。Miss Helen Mar という女がもてはやされる。先づこんな調子である。

或る奥さんが御亭主の病氣を醫者に見て貰ひました。醫者が云ふには、左程御心配なさるには及びませぬ、只周圍を靜にして置けば宜しいのですと云つて、鴉片のはいつてゐる藥をくれました。奥さん「これはどういふ工合に戴かせましたら宜しうございませう。」醫者「戴かせるのですと。いいえ。あなたが上るのですよ。」

或る席で「顔をする」といふ遊が始まりました。それは貴婦人方がてん／＼になる丈をかしい顔をなさるのです。そこで或る男の方が審判官になりまして、一番をかしい顔をいたした貴婦人に賞品を上げるといふのでございました。その男の方は暫く御一同の顔を見てゐましたが、つか／＼と一人の貴婦人の處へ賞品を持つてまゐりました。その貴婦人「あら。わたしは顔なんぞをしてはゐないのです。」

○三月十日には美術史家 Albin Schulz が München で死んだ。年は七十である。○維也納で Griselda を興行した日に、宮廷劇場は Gerhart Hauptmann を案内した。Hauptmann は其席から北伊太利へ出發したと云うた。○München で Wilhelm Busch の書を出版した Otto Fr. Bassermann は三月十二日に七十の誕生日を祝つた。○伊太利詩人

F. T. Marinetti

といふ先生は未來主義(Futurismo)といふものを發表した。Cairo に住んでゐた伊太利人の子で、佛蘭西で育つたのである。佛蘭西語が上手なので、これまでの作は佛蘭西語で書いた。脚本には Le Roi Bombance, La donna mobile などがある。D'Annunzio を攻撃した書には Les Deux s'en vont D'Annunzio reste と題してある。詩は Victor Hugo 調に Nietzsche の哲學を加味したやうなものである。Poesia といふ月刊雜誌を出して、伊、佛、獨、露、班等の國語の作